

安全性・経済性・使いやすさを高めた ボックスタイプ

JFEライトパネルは、軽量たて込み土留工法の決定版です。当社では、昭和60年スライドレール方式のJFEライトパネルを販売開始以来、高い作業性、安全性を有する商品として需要家の皆様から信頼と好評を得てまいりました。

さらに、皆様のご要望にお応えできるJFEライトパネル [ボックスタイプ] 掘削深さ3.0mまでの浅堀用、掘削深さ5.0mまでの深堀用をシリーズに加えました。[ボックスタイプ] は、現在各方面から注目を集めている、土留めパネルに柱の機能を組み入れた縦梁方式と呼ばれている商品です。

ボックスタイプは、商品のシンプル化・安全性・経済性・使い易さを高めた商品です。

今後とも、よりよい商品を提供できますよう研鑽を重ねておりますので、従来からのJFEライトパネルと同様、この [ボックスタイプ] のご愛用をお願いいたします。



—より安全な御使用を願って—

本カタログに掲載されている内容は情報提供を目的としたもので、誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承下さい。また、掲載される情報・使用等につきましては予告なしで変更する場合があります。最新情報につきましては、各担当部署にお問合わせ下さい。

ボックスタイプの特長

平らなパネル面	<ul style="list-style-type: none"> ①パネル面には凹凸がないので土砂の付着が少なくなります。 ②清掃もその分、楽になります。 ③パネル引抜き時の土砂抵抗も少なくなります。 ④パネル引抜き時の締固め土砂の緩みも少なくなります。 ⑤保管中の水や土砂のたまりが少なくなります。
骨組み構造のパネル	<ul style="list-style-type: none"> ①骨組み構造を採用、パネル厚を薄くしました。 ②剛性の高いパネルです。 ③バックホウによるパネル中央での押込みも可能です。
密閉構造のパネル	<ul style="list-style-type: none"> ①パネル面、縦梁部ともすべて溶接による密閉構造です。 ②施工中、土砂や生コンなどが内部に入ることがありません。 ③保管中にも水やほこりなどが内部に入ることがありません。 ④商品管理が容易になり耐食性も向上します。
上、下専用のパネル	<ul style="list-style-type: none"> ①下パネルの下側は一様にエッジ状の刃先が付いています。 ②上パネルの下側には、パネル連結シューが付いています。 ③上パネルの上側には、突起がありません。 ④上側に突起がないので掘削や覆工の障害が少なくなります。
切梁は構内作業を配慮	<ul style="list-style-type: none"> ①厚肉パイプの切梁です。 ②ネジ部の露出がないので、ネジの傷みが少なくなります。 ③ネジ部への土砂や生コン等の付着の心配がありません。 ④大きな突起がありません。長さ伸縮はレンチ方式です。 ⑤浅掘用の切梁は、掘削幅の830～1100mmと1100mm以上の2本立。 1100mm以上は、掘削幅に対応する調整管の取替え方式です。 深掘用の切梁は、掘削幅の1000～1250mmと1250mm以上の2本立て。 1250mm以上は、掘削幅に対応する調整管の取替え方式です。